



日本マニュファクチャリングサービス株式会社

JASDAQ 2162

2013年3月期 第1四半期

決算説明資料

2012年8月8日



これまでにない「新しいモノづくりソリューション企業」として

新・事業戦略コンセプト neo EMS
(進化型のEMS)

をグローバルに展開し、企業価値を増大

◆2013年3月期 第1Q 業績ハイライト	P 3
◆第1Qの成果・トピックス	P11
◆2013年3月期 通期業績予想	P17
◆(参考資料) 中期経営計画	P26

* 金額は四捨五入にて百万円単位で表示しております。そのため決算短信、四半期報告書と一致しない場合があります。



2013年3月期 第1Q 業績ハイライト





グループ業績はほぼ計画通りの進捗状況



前年同期比：売上高+52.8%、営業利益+328.9%

- ✓ TKRは2012年7月に子会社化したため、前期と比較しTKRの第1四半期の業績が貢献
- ✓ 志摩電子工業が12月決算に変更となりました。そのため志摩日本、志摩香港の第1四半期に該当する1月～3月の業績は既に2012年3月期に計上されているため、今期の第1四半期業績には含まれておりません

2013年3月期 第1Q 業績ハイライト (P/L)

業績はほぼ計画通りの進捗状況
(売上高達成率 102.2%、営業利益達成率 99.0%)

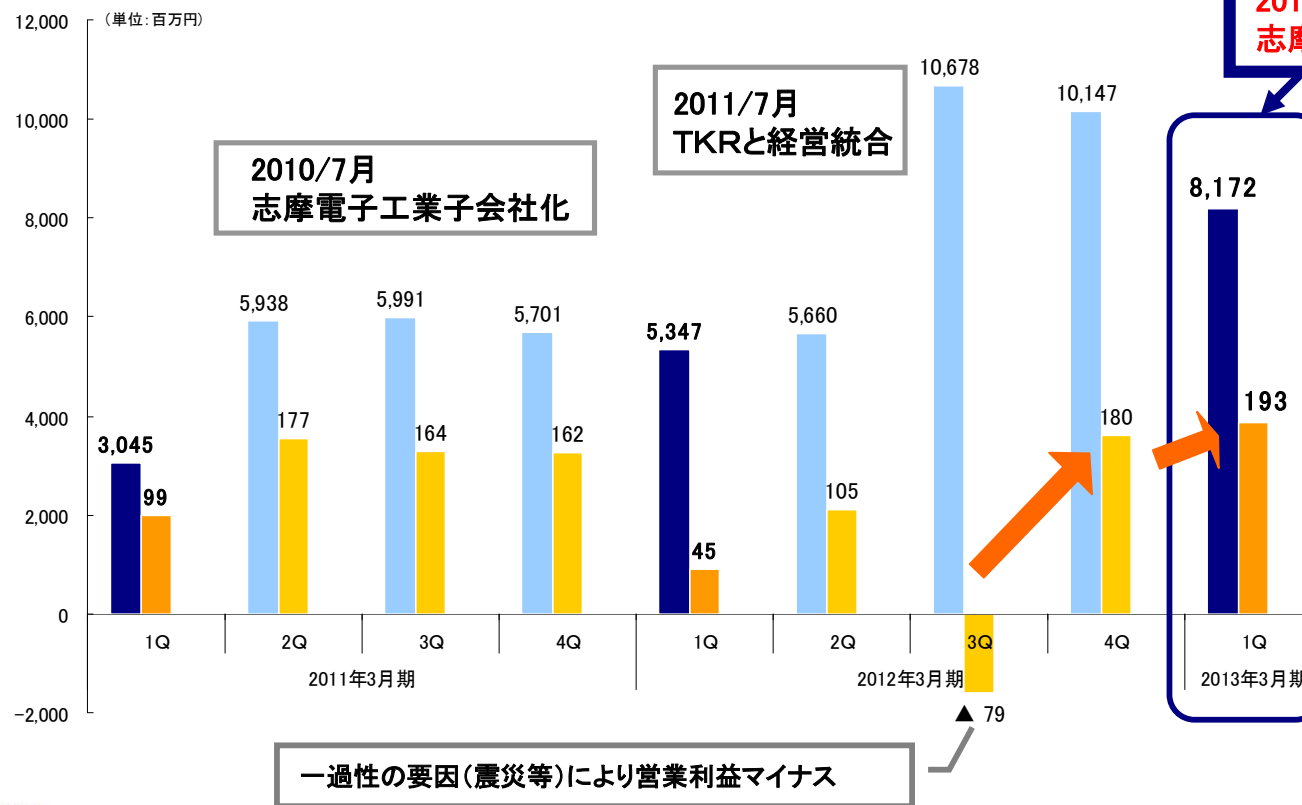
(単位:百万円)

項目/決算別	第1四半期				前年同期	前年同期比
	計画	実績	差異	達成率		
売上高	8,000	8,172	172	102.2%	5,347	+52.8%
売上総利益	1,290	1,254	▲36	97.2%	612	+104.9%
(売上総利益率)	16.1%	15.3%	▲0.8%	-	11.4%	-
販売管理費	1,095	1,062	▲33	97.0%	567	+87.3%
(販売管理费率)	13.7%	13.0%	▲0.7%	-	10.6%	-
営業利益	195	193	▲2	99.0%	45	+328.9%
(営業利益率)	2.4%	2.4%	-	-	0.8%	-
経常利益	250	244	▲6	97.6%	22	+1,009.1%
(経常利益率)	3.1%	3.0%	▲0.1%	-	0.4%	-
当期純利益	105	107	2	101.9%	▲1	-
(当期純利益率)	1.3%	1.3%	-	-	-	-

四半期別 業績推移

営業利益は東日本大震災、タイ大洪水後、順調に回復

(単位:百万円)	2011年3月期				2012年3月期				2013年3月期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	3,045	5,938	5,991	5,701	5,347	5,660	10,678	10,147	8,172
営業利益	99	177	164	162	45	105	▲ 79	180	193



(注)

志摩電子工業が12月決算に変更

◆ 志摩日本、志摩香港の第1四半期に該当する1月～3月の業績は今期の第1四半期に含まれておりません

◆ 志摩日本、志摩香港の第1四半期の業績は既に2012年3月期に計上されております

2013年3月期 第1Q 事業別業績ハイライト

IS事業

インラインソリューション事業

リーマンショック後
最高在籍数達成

決算期 項目	第1四半期				前年同期	前年 同期比
	計画	実績	差異	達成率		
売上高	2,550	2,432	▲ 118	95.4%	2,009	+21.1%
(構成比)	31.9%	29.8%	▲2.1%	-	37.6%	▲7.8%
営業利益	20	▲ 27	▲ 47	-	11	-
(営業利益率)	0.8%	-	-	-	0.5%	-
現場社員数(人)	2,700	2,835	135	105.0%	2,457	+15.4%

CS事業

カスタマーサービス事業

CS事業推進体制の再構築

決算期 項目	第1四半期				前年同期	前年 同期比
	計画	実績	差異	達成率		
売上高	700	606	▲ 94	86.6%	686	▲11.7%
(構成比)	8.8%	7.4%	-	-	12.8%	▲5.4%
営業利益	30	16	▲ 14	53.3%	19	▲15.8%
(営業利益率)	4.3%	2.6%	▲1.6%	-	2.8%	▲0.1%
現場社員数(人)	690	661	▲ 29	95.8%	726	▲9.0%

* 前年同期のIS、CS、GE事業の営業利益は間接費用の配分がされたものを記載しております

2013年3月期 第1Q 事業別業績ハイライト

GE事業

グローバルエンジニアリング事業

TKRグループと志摩グループの連携で受託型の開発設計業務を受注

決算期 項目	第1四半期				前年同期	前年同期比
	計画	実績	差異	達成率		
売上高	150	156	6	104.0%	155	+0.6%
(構成比)	1.9%	1.9%	0.0%	-	2.9%	▲1.0%
営業利益	▲5	3	8	-	3	+0.0%
(営業利益率)	-	1.9%	-	-	1.9%	-
現場社員数(人)	110	110	0	100.0%	111	▲0.9%

EMS事業

エレクトロニクス マニファクチャリングサービス事業

横断的営業戦略組織を設置し、キーアカウントに対する本社営業を精力的に進める

決算期 項目	第1四半期				前年同期	前年同期比
	計画	実績	差異	達成率		
売上高	4,600	4,977	377	108.2%	2,497	+99.3%
(構成比)	57.5%	60.9%	3.4%	-	46.7%	14.2%
営業利益	150	201	51	134.0%	12	+1,575.0%
(営業利益率)	3.3%	4.0%	0.8%	-	0.5%	-

* 前年同期のIS、CS、GE事業の営業利益は間接費用の配分がされたものを記載しております

2013年3月期 第1Q 業績ハイライト (B/S)

総資産19,326百万円、純資産6,236百万円

項目/決算別 (単位:百万円)	2012年3月期	2013年3月期		
	(12/3末)	(13/6末)	増減	前期末比
資産合計	18,710	19,326	616	+3.3%
流動資産	13,036	13,416	380	+2.9%
固定資産	5,672	5,909	237	+4.2%
負債	12,870	13,089	219	+1.7%
流動負債	10,229	10,710	481	+4.7%
固定負債	2,641	2,379	▲ 262	-
純資産	5,839	6,236	397	+6.8%
資本金	501	501	0	-
資本剰余金	231	231	0	-
利益剰余金	2,828	2,894	66	+2.3%
その他	2,279	2,610	331	+14.5%
負債・純資産合計	18,710	19,326	616	+3.3%

流動資産 前期末比+379百万円
受取手形及び売掛金 +367百万円

固定資産 前期末比+236百万円
無形固定資産 +150百万円
投資その他資産 +111百万円

流動負債 前期末比+480百万円
未払金 +98百万円
短期借入金 +336百万円

固定負債 前期末比▲261百万円
長期借入金 ▲230百万円

資本金 前期末比±0百万円
変動なし
資本剰余金 前期末比±0百万円
変動なし

利益剰余金 前期末比+66百万円

その他 前期末比+331百万円
為替換算調整勘定 +108百万円
少数株主持分 +197百万円

2013年3月期 第1Q 業績ハイライト (C/F)

前年同期比：1株あたり純資産・純利益ともに大幅増加

<C/F>

項目/決算別 (単位:百万円)	2012年3月期 第1Q (2011年4月1日～ 2011年6月30日)	2013年3月期 第1Q (2012年4月1日～ 2012年6月30日)	増減
営業活動による キャッシュ・フロー	▲180	129	309
投資活動による キャッシュ・フロー	▲12	▲273	▲261
財務活動による キャッシュ・フロー	509	▲24	▲533
現金及び現金同等物の 増減額	322	▲106	▲428
現金及び現金同等物の 期末残高	2,034	3,766	1,732

<主な指標>





項目/決算期	2012年3月期 第1Q	2013年3月期 第1Q	増減
1株あたり純資産(円)	21,043.28	34,654.92	13,611.64
自己資本比率(%)	27.8	18.3	▲9.5
1株あたり純利益(円)	▲7.46	1,047.39	1,054.85



第 1 Q の 成 果 ・ ト ピ ッ ク ス



第1Qの成果・TOPICS

-  **北京中基衆合国際技術服務有限公司が
河南省人力資源人材開発中心と業務提携
:中国人材採用ルート確立(月間採用力 500名~3,000名)**
-  **グループ協業体制による新規案件の獲得**
-  **カスタマーサービス専用Webサイト開設による CS事業の強化**
-  **中国 製造派遣事業・ベトナム 製造請負事業の順調な推移**

第1Qの成果・TOPICS

北京中基衆合国際技術服务有限公司が
河南省人力資源人材開発中心と業務提携
中国人材採用ルート確立(月間採用力500名~3,000名規模)

中国に進出している
メーカー各社の課題

人が集まらない、離職率が高い

中国政府機関を通じて人材を効率的に提供できるルートを獲得

政府機関である

「河南省人力資源人材開発中心」と業務提携

河南省の人材供給能力は、
中国全土でNo. 1
2011年採用実績は約10万人

人材提供能力の高さ

「河南省人力資源人材開発中心」

河南省人力資源和社会保障庁(日本でいう厚生労働省の地方版)
に属する政府機関で主な業務は採用支援業務



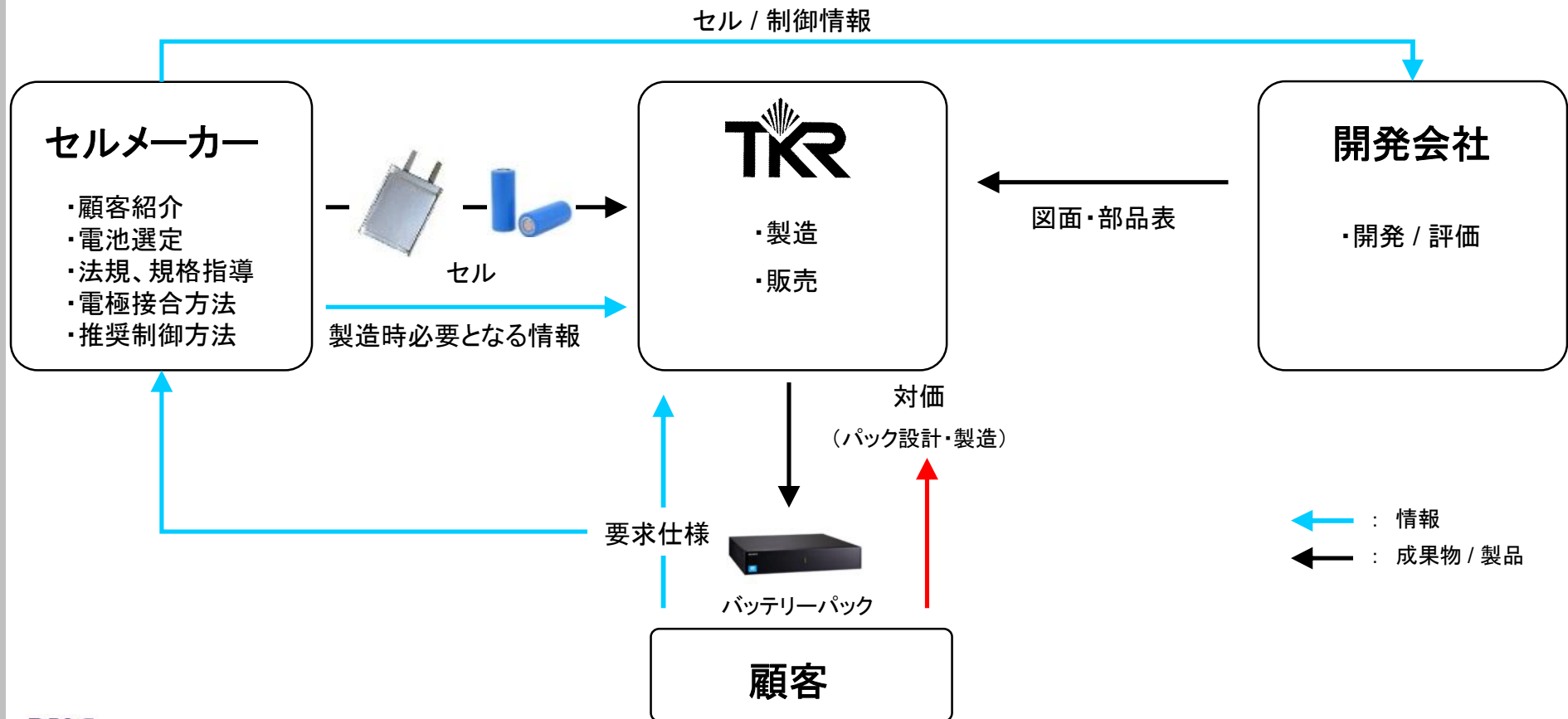
調印式:

左から2番目が河南省人力資源和社会保障庁
人力資源人材開発中心 王主任

右から2番目が中基衆合無錫分公司朝日総経理

グループ協業体制による新規案件の獲得

成長分野であるリチウムイオン電池市場で案件獲得



カスタマーサービス専用Webサイト開設によるCS事業の強化

- **カスタマーサービス専用Webサイトを開設**
- **家電量販店からも受注し、7月から修理サービス開始**



＜カスタマーサービス専用Webサイト＞

<http://www.n-ms.co.jp/cs/>

第1Qの成果・TOPICS

中国 製造派遣事業・ベトナム 製造請負事業の順調な推移



中国

派遣ビジネス拡大のための
管理者・リーダークラス育成
派遣実績 約400名
(受注残:約4,000名)



ベトナム

新規案件受注
ベトナム進出企業支援



2013年3月期 通期業績予想

注意点: 志摩グループの決算期の変更について

志摩グループの決算期を3月から12月に変更をしたため、2013年3月期の業績予想については以下が注意点となります。

- 2013年3月期は志摩日本および香港の期間損益は4月～12月の9ヶ月分の計上となります。
- 志摩日本および香港の第1四半期に該当する2012年1月～3月の損益は2012年3月期に計上されているため、2013年3月期の第1四半期には志摩日本および香港の損益は計上されません。なお、志摩マレーシアについては当初より12月決算のため変更はございません。

2013年3月期 通期業績予想（連結）

売上高：前期比+41.4%、利益：営業利益で前期比+296.8%

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				2013年3月期(通期)累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	11,007	19,000	7,993	+72.6%	20,825	26,000	5,175	+24.8%	31,832	45,000	13,168	+41.4%
売上総利益	1,315	2,610	1,295	+98.5%	2,268	3,030	762	+33.6%	3,583	5,640	2,057	+57.4%
(売上総利益率)	11.9%	13.7%	1.8%	-	10.9%	11.7%	0.8%	-	11.3%	12.5%	1.2%	-
販売管理費	1,165	2,250	1,085	+93.1%	2,167	2,390	223	+10.3%	3,332	4,640	1,308	+39.3%
(販売管理费率)	10.6%	11.8%	1.3%	-	10.4%	9.2%	▲1.2%	-	10.5%	10.3%	▲0.2%	-
営業利益	150	360	210	+140.0%	102	640	538	+527.5%	252	1,000	748	+296.8%
(営業利益率)	1.4%	1.9%	0.5%	-	0.5%	2.5%	2.0%	-	0.8%	2.2%	1.4%	-
経常利益	85	415	330	+388.2%	181	635	454	+250.8%	266	1,050	784	+294.7%
(経常利益率)	0.8%	2.2%	1.4%	-	0.9%	2.4%	1.6%	-	0.8%	2.3%	1.5%	-
当期純利益	1,274	190	▲1,084	▲85.1%	82	310	228	+278.0%	1,356	500	▲856	▲63.1%
(当期純利益率)	11.6%	1.0%	▲10.6%	-	0.4%	1.2%	0.8%	-	4.3%	1.1%	▲3.1%	-

2013年3月期 通期業績予想概要（連結）

売上高 45,000百万円（前期比+41.4%、13,168百万円増収）

…今期より志摩グループが12月決算になるため、志摩日本、志摩香港の損益計上が9ヶ月分となるが、TKRの期間損益の計上が12ヶ月分となるため、EMS事業の売上高は前期比+58.3%増加

● IS事業	11,150百万円	（前期比+19.0%、1,779百万円増収）
● MS事業	3,100百万円	（前期比+ 6.8%、197百万円増収）
● GE事業	750百万円	（前期比+ 19.4%、122百万円増収）
● EMS事業	30,000百万円	（前期比+58.3%、11,050百万円増収）

売上総利益 5,640百万円（前期比+57.4%、2,057百万円増益）

…売上総利益率が1.2Point改善（11.3%→12.5%）

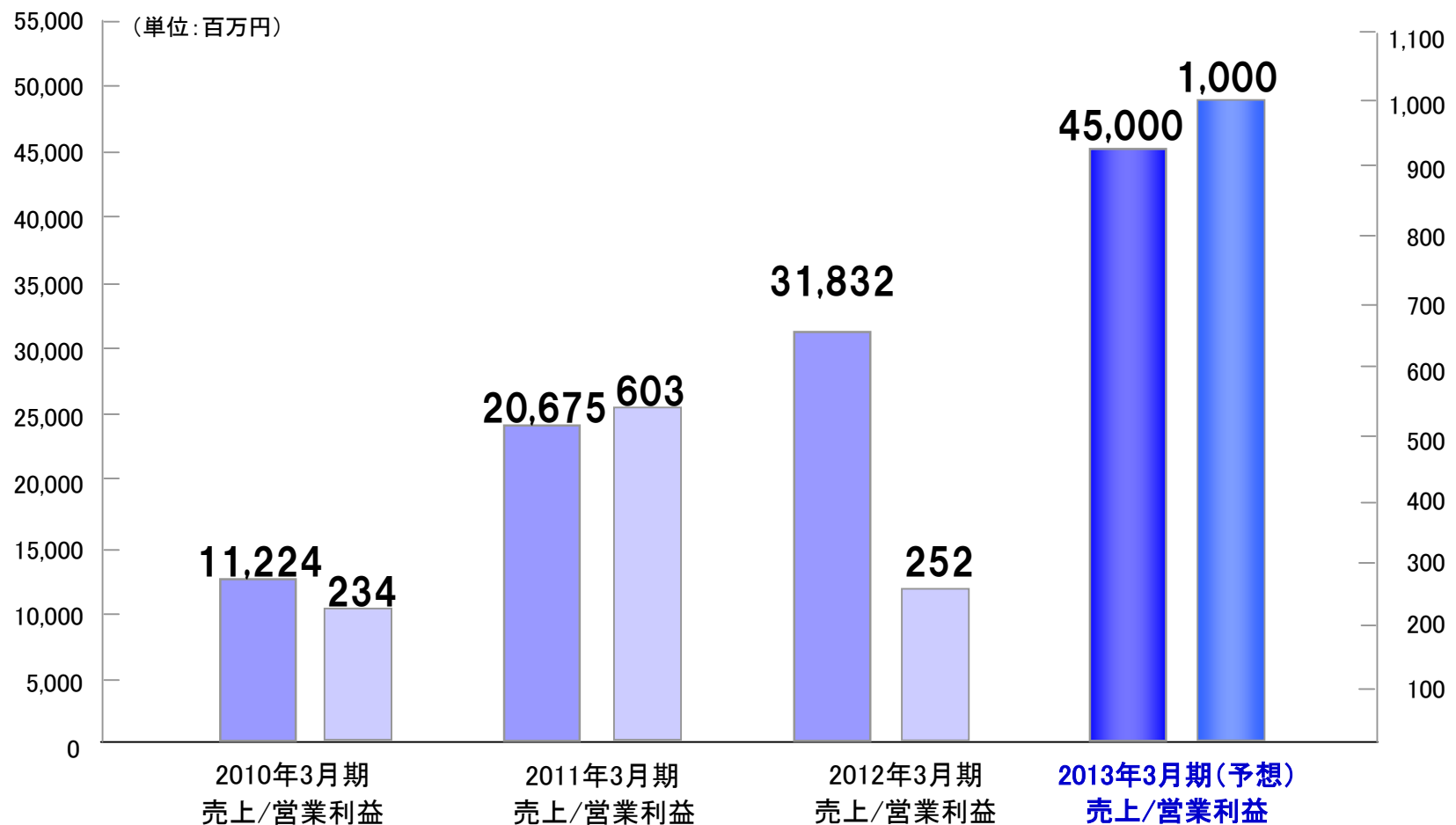
営業利益 1,000百万円（前期比+296.8%、748百万円増益）

…販売管理費が前期比で+1,308百万円増加するも営業利益率を1.4Point改善（0.8%→2.2%）

当期純利益 500百万円（前期比△63.1%、△856百万円減益）

2013年3月期 通期業績予想概要 (連結)

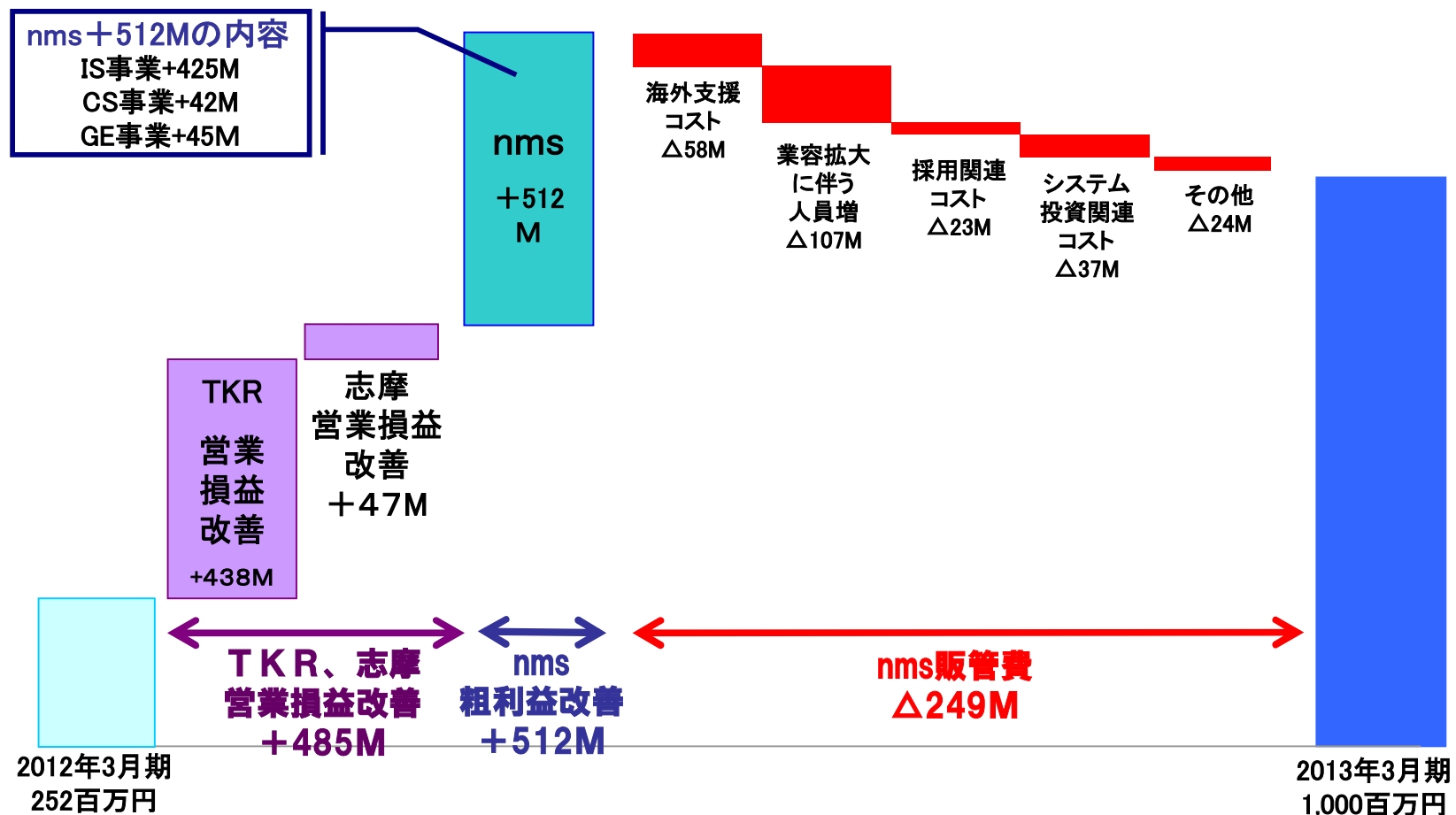
売上高:前期比+41.4% 営業利益:前期比+296.8%



2013年3月期 営業利益について

各事業部の収益改善により営業利益1,000百万円

(前期比+296.8%増、+748百万円増益)



2013年3月期 事業別業績見通し

IS事業 インラインソリューション事業

売上高19.0%増

* 前期のIS事業の営業利益は間接部門費用の配分がなされていないため非表示とする

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	4,407	5,230	823	+18.7%	4,964	5,920	956	+19.3%	9,371	11,150	1,779	+19.0%
(構成比)	40.0%	27.5%	▲12.5%	-	23.8%	22.8%	▲1.1%	-	29.4%	24.8%	▲4.7%	-
営業利益	-	45	-	-	-	200	-	-	-	245	-	-
(営業利益率)	-	0.9%	-	-	-	3.4%	-	-	-	2.2%	-	-
現場社員数(人)	2,666	2,950	284	+10.7%	2,796	3,250	454	+16.2%	2,796	3,250	454	+16.2%

CS事業 カスタマーサービス事業

売上高6.8%増

* 前期のCS事業(旧IMS事業)の営業利益は間接部門費用の配分がなされていないため非表示とする

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	1,491	1,450	▲41	▲2.7%	1,412	1,650	238	+16.9%	2,903	3,100	197	+6.8%
(構成比)	13.5%	7.6%	▲5.9%	-	6.8%	6.3%	▲0.4%	-	9.1%	6.9%	▲2.2%	-
営業利益	-	60	-	-	-	135	-	-	-	195	-	-
(営業利益率)	-	4.1%	-	-	-	8.2%	-	-	-	6.3%	-	-
現場社員数(人)	756	725	▲31	▲4.1%	684	780	96	+14.0%	684	780	96	+14.0%

2013年3月期 事業別業績見通し

GE事業

グローバルエンジニアリング事業
(GS事業+ES事業)

売上高19.4%増

* 前期のGE事業の営業利益は間接部門費用の配分がなされていないため非表示とする

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	309	320	11	+3.6%	319	430	111	+34.8%	628	750	122	+19.4%
(構成比)	2.8%	1.7%	▲1.1%	-	1.5%	1.7%	0.1%	-	2.0%	1.7%	▲0.3%	-
営業利益	-	▲5	-	-	-	25	-	-	-	20	-	-
(営業利益率)	-	▲1.6%	-	-	-	5.8%	-	-	-	2.7%	-	-
現場社員数(人)	112	125	13	+11.6%	113	170	57	+50.4%	113	170	57	+50.4%

EMS事業

エレクトロニクスマニュファクチャリングサービス事業

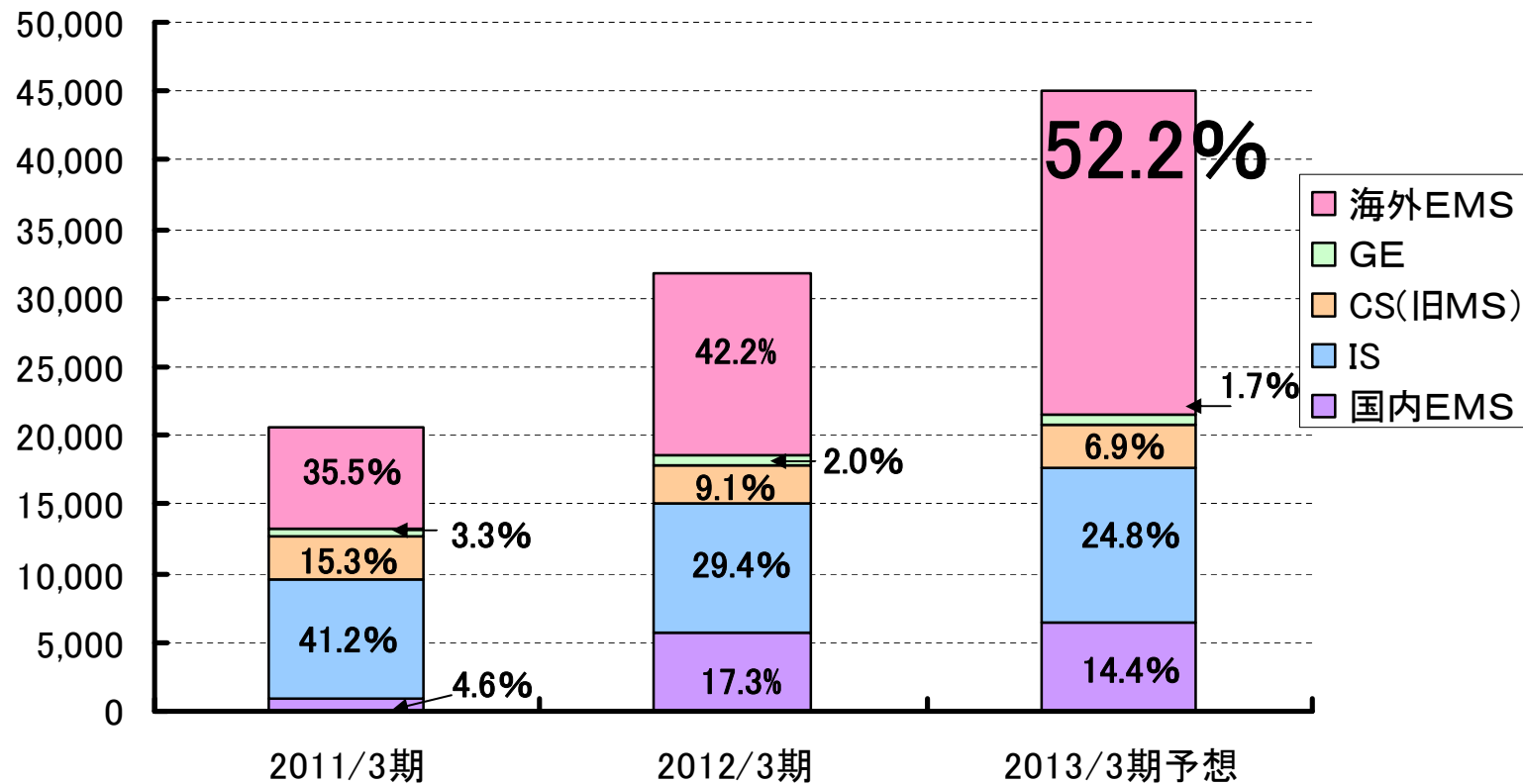
売上高58.3%増

* 前期のEMS事業の営業利益は間接部門費用の配分がなされているため表示

項目/決算別 (単位:百万円)	上期累計				下期累計				通期累計			
	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比	前期	当期	増減	前期比
売上高	4,799	12,000	7,201	+150.1%	14,151	18,000	3,849	+27.2%	18,950	30,000	11,050	+58.3%
(構成比)	43.6%	63.2%	19.6%	-	68.0%	69.2%	1.3%	-	59.5%	66.7%	7.1%	-
営業利益	8	220	212	+2,650.0%	7	280	273	-	15	500	485	-
(営業利益率)	0.2%	1.8%	1.7%	-	+0.0%	1.6%	1.5%	-	+0.1%	1.7%	1.6%	-

事業別売上構成

2013年3月期予想で海外売上高比率50%超



株主還元

**総還元性向(配当+自己株式取得)20%を中長期的目標
配当性向10%を目処に期末配当額を検討**

単位:円/(%)	2010年年3月期	2011年3月期		2012年3月期		2013年3月期 (予想)
配当金(1株)	普通配当	普通配当	普通配当 +特別配当 +記念配当の場合	普通配当	普通配当 +記念配当の場合	普通配当
	100円	200円	400円	300円	400円	300円
配当性向(連結) (単体ベース)	- (4.3%)	2.2% (10.0%)	4.4% (20.0%)	2.2% -	3.0% -	6.5% -
総還元性向(連結) (単体ベース)	- (10.0%)	2.2% (10.0%)	4.4% (20.0%)	2.2% -	3.0% -	6.5% -

* 2011年4月1日を効力日として株式分割(1株→5株)を実施したため、上記は分割後換算で表示
 * 2011年3月期第2四半期より連結決算をおこなっているため、参考として単体ベースも記載
 * 2010年3月期は、自己株式取得(取得金額13,024,540円)を実施

(参考資料) 中期経営計画



経営環境(外部環境) ～製造アウトソーシングを取り巻く環境～

製造業の海外移転が加速

恒常的な円高



国内・海外別 メーカーニーズの変化

国内 高付加価値製品や新製品開発等が主体

海外 汎用品の生産が主体

経営環境(外部環境) ～製造アウトソーシングを取り巻く環境～

環境変化から見た新たな製造アウトソーシングニーズ

国内に加え、海外での生産、人材提供体制がポイント

	従前		→	今後	
	国内	海外		国内	海外
人材提供力	○	—		○	○
請負力(製造受託力)	△	—		○	△
コンプライアンス体制	○	—		○	○
製造サービスの高度化への対応	△	—		○	△
モノづくり品質	△	—		○	△

すでに新たなニーズを見据えた事業展開を実行

新たなニーズ

	国内	海外
人材提供力	○	○
請負力(製造受託力)	○	△
コンプライアンス体制	○	○
製造サービスの高度化への対応	○	△
モノづくり品質	○	△

国内での需要が高まる修理業務



IS事業

- ・国内・海外に広がる製造派遣、請負基盤
- ・コンプライアンスを前提とした豊富な請負事例

CS事業

- ・カスタマーサービス事業の拡充
- ・新規ビジネスの開始

GE事業

設計開発分野における日本人、中国人技術者派遣

EMS事業

- ・国内・海外のEMS工場(国内7箇所、海外5箇所)
- ・設計開発から完成品までの一貫生産体制を構築

経営環境(外部環境) ～製造アウトソーシングを取り巻く環境～

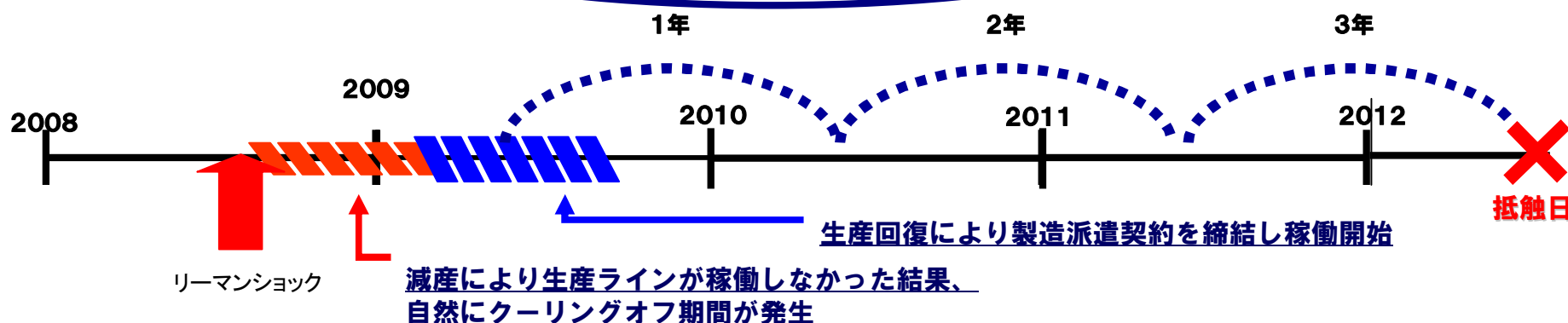
労働者派遣法の改正と2012年問題

2012年3月28日

労働者派遣法改正法案については当初の厳しい規制方針を大幅に緩和し、「登録型と製造派遣の原則禁止を削除する」等の修正案が提出され、参院本会議で可決し成立(公布は4月6日)

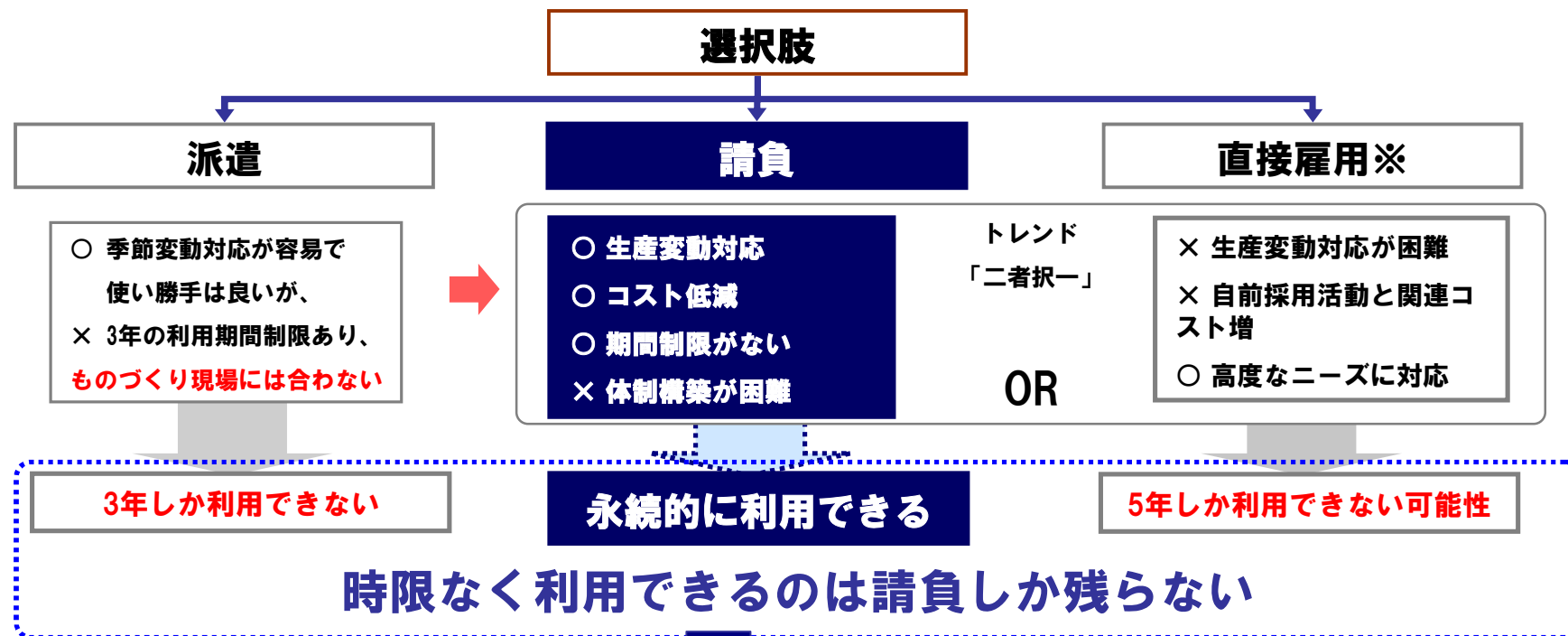
「製造派遣の原則禁止」を削除→「3年間の期間制限」はそのまま

2008年のリーマンショックでの減産にともない
自然に製造派遣のクーリングオフ期間が発生。
生産回復となり再度製造派遣契約をした現場は
2012年度に契約満了の期限が発生



経営環境(外部環境) ～製造アウトソーシングを取り巻く環境～

労働者派遣法の改正と2012年問題



nmsは請負拡大のチャンス
・ 65歳定年制 ・ 無期雇用

※直接雇用について-労働契約法(有期労働)改正案

「5年を超えた場合、有期契約労働者が申し出れば、雇用先の企業に期間を区切らない

「無期雇用」に転換させる

* 労働基準法は有期雇用について、1回の契約で働ける年数を原則3年以内と定めているが、契約更新を重ねた場合の上限規定がなかった。

中期的戦略－当社の戦略

「モノづくり」と「人材提供の機動性」を併せ持つ
「neoEMS」をグローバルに展開し、
海外生産ニーズ、国内でのモノづくりニーズを獲得

設計から製品組立に至る
モノづくり

+

人材ビジネスの持つ
人材提供の機動性

日本のメーカーが求める
▶ **モノづくり**

物流をカバーすることで

開発・設計から修理・カスタマーサービスまで、

ワンストップサービスを提供



当社のビジョン 「neo EMS」

設計から製品組立に至る
モノづくり

+

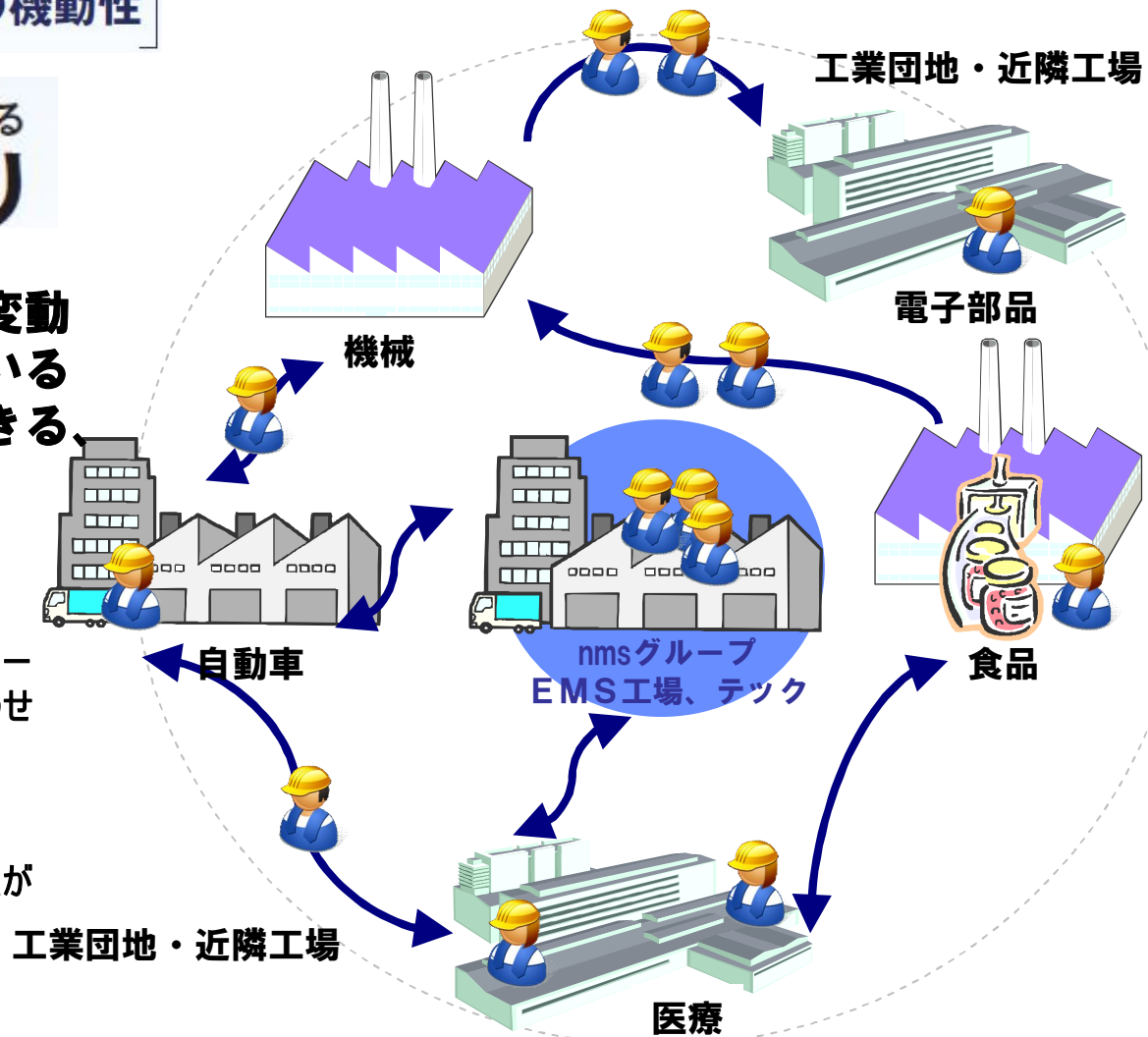
人材ビジネスの持つ
人材提供の機動性

日本のメーカーが求める
モノづくり

製造現場で必ず発生する生産変動にあわせてメーカーが求めているモノづくり力と人材を提案できるそれが「neo EMS」です。

当社グループの工場を中心に近隣のメーカー各社間でモノづくり人材を生産変動に合わせて活用する人材のSCMを構築、

人材をメーカー各社で活用することで、雇用の存続が可能となり人材の付加価値が向上し、事業規模の拡大につながります



製造アウトソーシング アジアNo1

2014年3月期は

事業規模を2011年3月期比 **3倍に拡大**

中国事業を中心に海外売上高比率を **50%超に拡大**

製造アウトソーシング アジアNo.1に向けて 国内で得た収益で海外事業に投資

海外事業

Mission

海外事業規模の拡大、
海外インフラの構築

国内事業

Mission

海外投資源泉の適正確保

マレーシア
EMS事業

中国
労務派遣
EMS事業

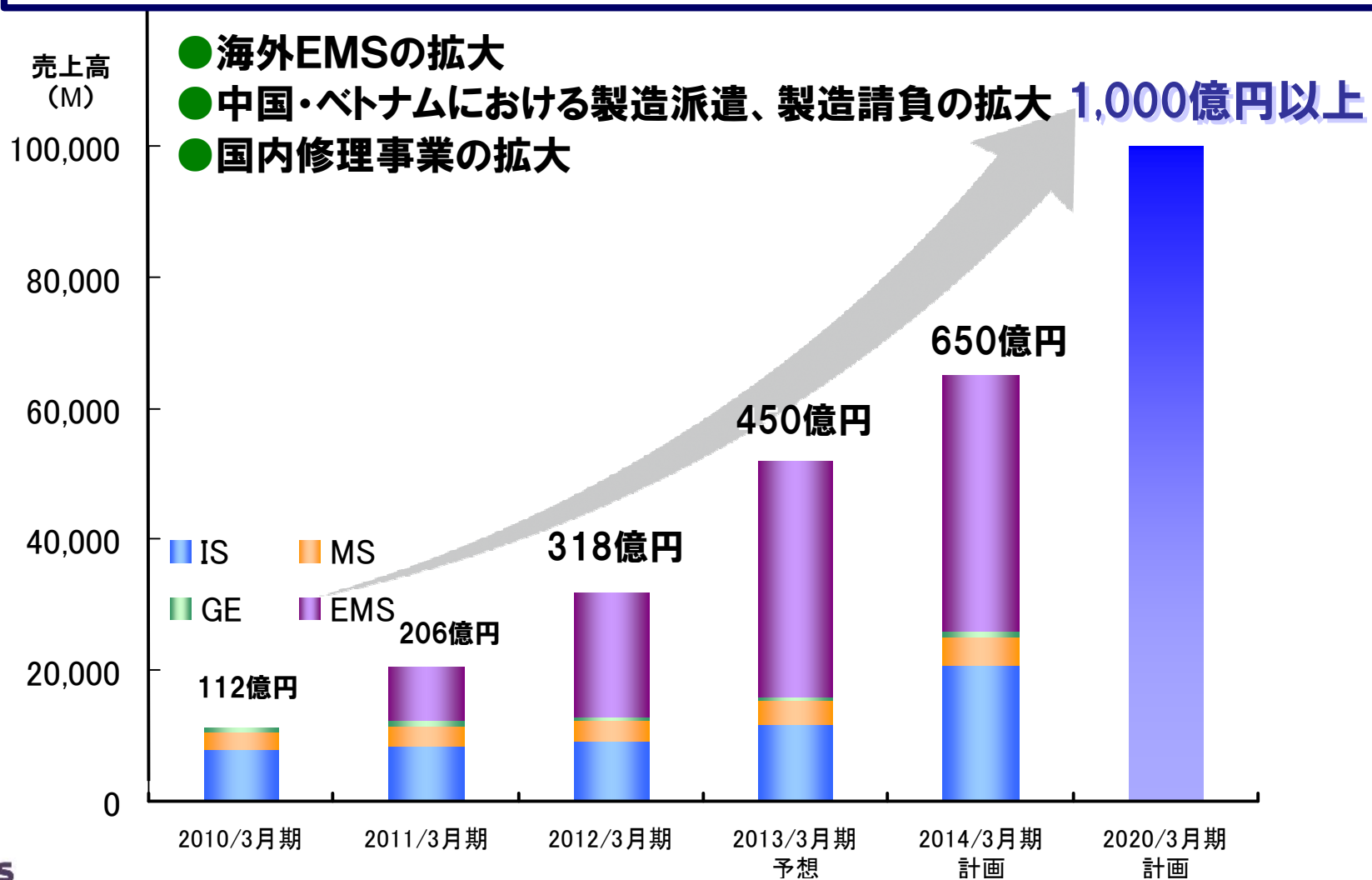
ベトナム
製造請負

収益性の向上

- ・モノづくりサービス品質の向上
- ・競争優位性の確立

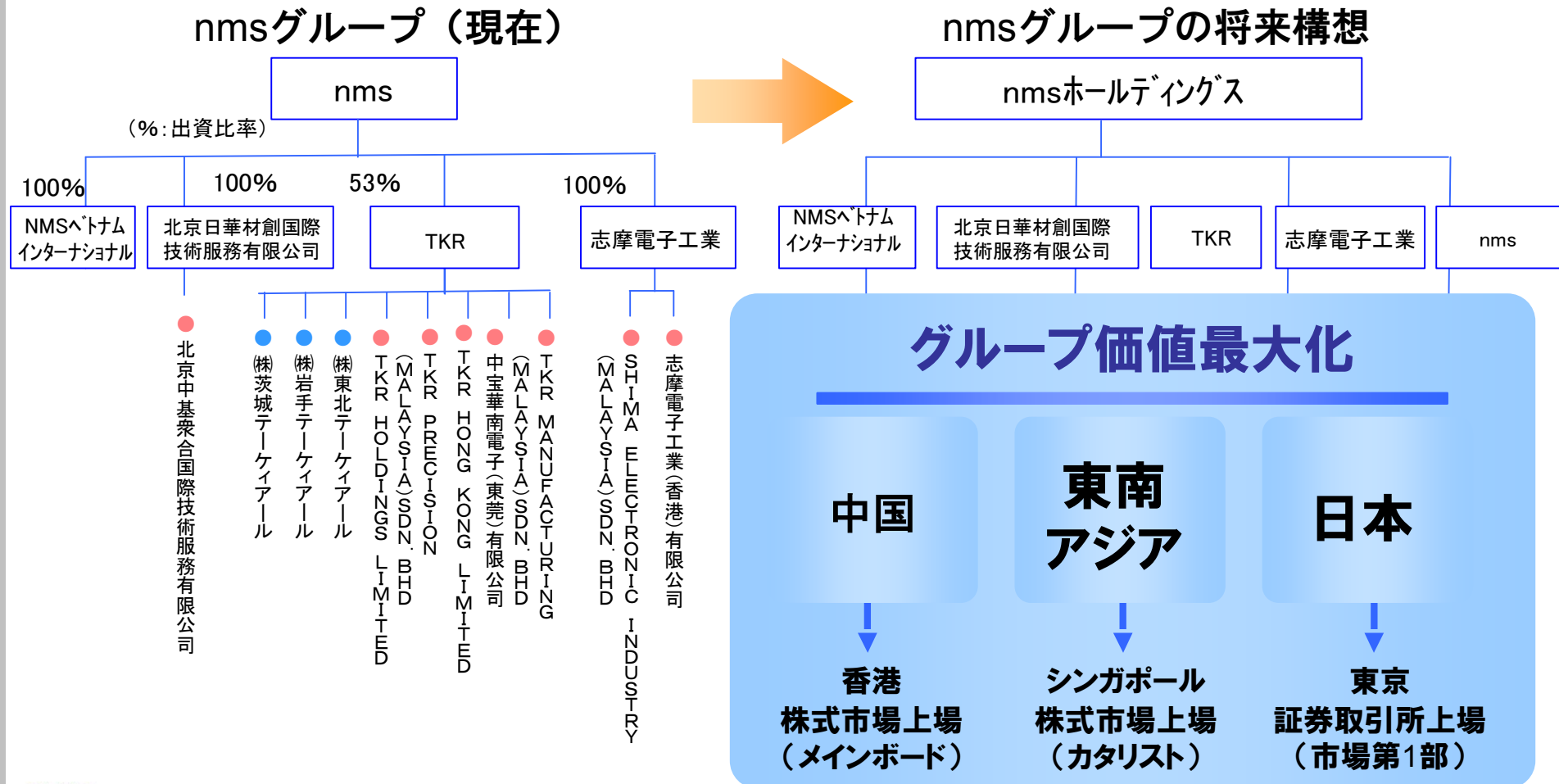
● 将来国内に還元 ●

売上高1,000億円を目指した展開



グループ体制: グループ価値最大化に向けた将来構想

中国、東南アジアで事業を拡大するために グローバルな資金調達を実現



本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料の中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

本資料に関するお問い合わせ

日本マニュファクチャリングサービス株式会社
コーポレート本部 広報IRグループ
Tel:03-5333-1711
E-mail:nms-ir@n-ms.co.jp